データ処理セミナーのご案内

株式会社地球科学総合研究所

本セミナーは、弊社が開発した PC 稼働の反射法地震探査処理ソフトを使用し、実データを扱う処理実習を中心とした講座であり、反射法地震探査データ処理技術の基礎的な知識を習得できるような内容にしております。2 次元、3 次元のデータ処理セミナー、それぞれ 1 週間（5 日間）の日程を想定しておりますが、お客様のご経験やご都合に合わせ、1 日単位で、2 次元あるいは 3 次元データ処理だけの講習も選択できるようにアレンジ致します。
反射法地震探査の基礎的内容を習得しようとお考えの方や新入社員研修としてのご利用をお考えの方など多数のご参加をお待ちしております。

１．講義内容

2 次元、3 次元地震探査データ処理実習について、国内外の実データを用い、ショット記録およびジオメトリその他の情報を入力として処理をスタートします。標準的な処理ステップに基づき、各処理ステップでの基本原理等についての講義およびパラメータテストを通じ、最終的にマイグレーション記録までを作成致します。受講者お一人お一人が、弊社開発の PC で稼働する処理ソフト（ActiveSeis DPS）を使用して、反射法地震探査データ処理技術の基礎的な知識を習得できるような内容になっております。受講者のレベルや進捗状況に応じて最新の処理技術についての講義も含めることも考えております。
使用する PC（標準的なノート PC の仕様で構いません）については参加者ご自身で用意をお願いいたしますが、必要であればこちらでも準備いたします (弊社の会議室使用の場合)。
なおトレーニングで使用する処理ソフトおよびデータの一部はそのままお渡し致しますので、後日復習する際あるいはお手持ちのデータで処理をすることが可能です。

２．対象

反射法地震探査データ処理について初めて学ばれる方、反射法地震探査の基本的事項について知識はお持ちだが 2D あるいは 3D 処理の経験のない方、新入社員教育の一環としてご利用になりたい方、などを対象と致します。

３．開催場所

弊社会議室を基本と致しますが、お客様の会議室など会場をお借りしてオンサイトでの開催も可能です。

©JGI2016

４．参加費用

参加費用に関しましては、マンツーマンのセミナーの場合（5 日間）、2 次元・3 次元データ処理両方とも受講される場合（10 日間）など参加人数、期間に応じてご相談させて頂きます。

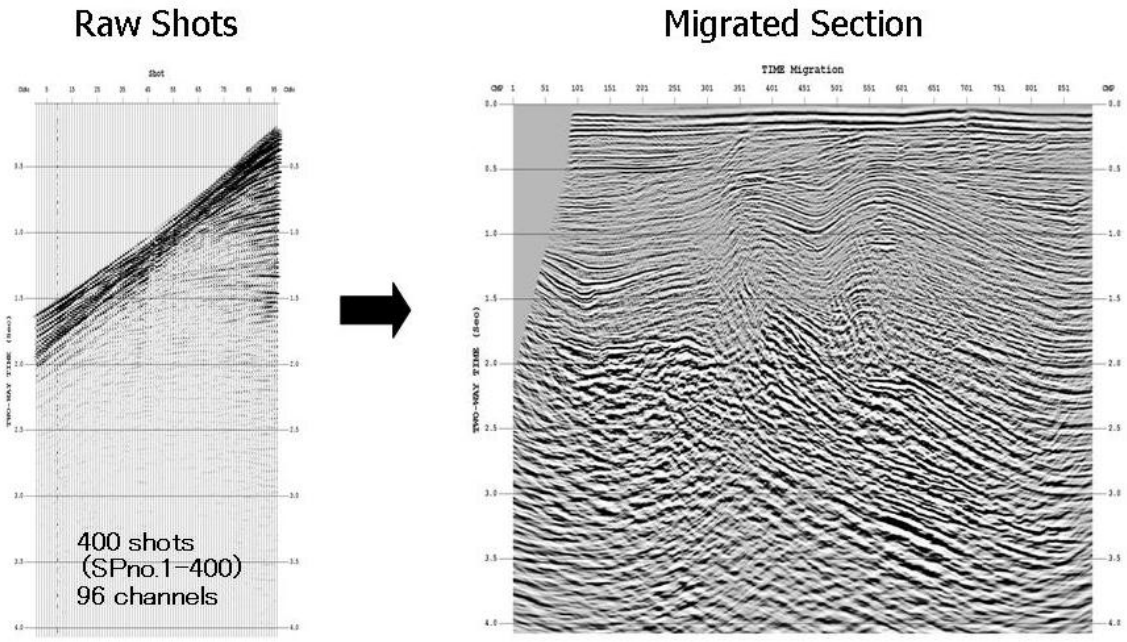
５．参加申し込み・お問い合わせ

受講のご希望や日程、講義内容など、ご要望をメールにてご連絡頂ければ幸いです。

株式会社 地球科学総合研究所

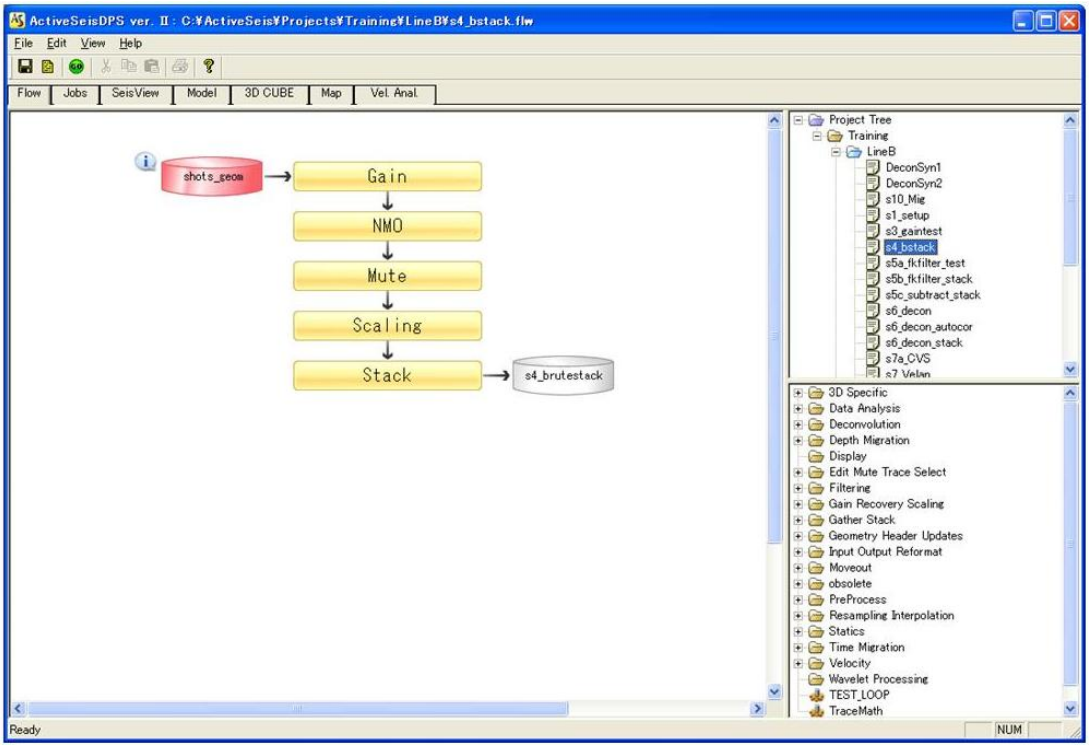
営業部　宛（application@jgi.co.jp）

Tel.(03)5978-8024　Fax.(03)5978-8060



海上 2D 地震探査データ記録例

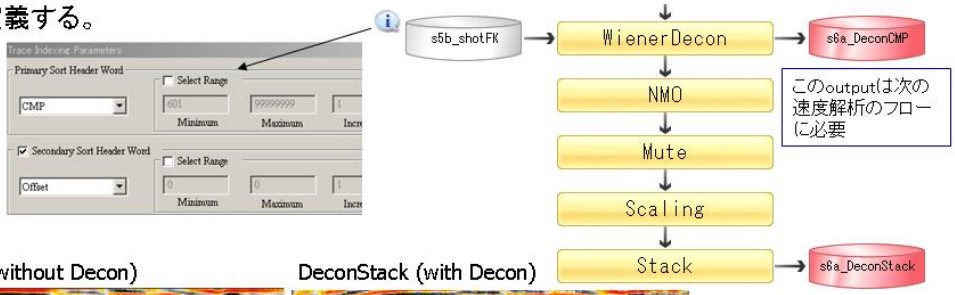
©JGI2016



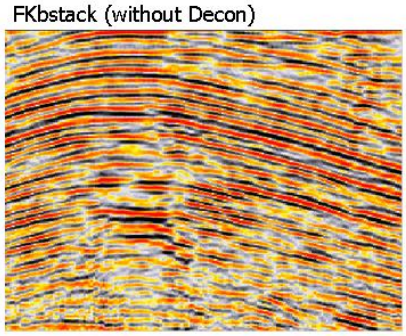
ActiveSeis DPS 表示画面：フローチャート例

Step6：Deconvolution（7/8）

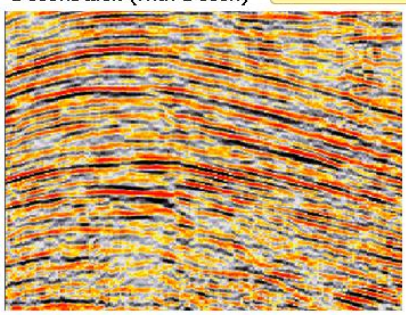
11. WienerDeconに選択したprediction gapのパラメータをセット（Gap=5）。
12. WienerDeconの入力 s5b_shotFKをCMP sortの全データとする。
13. WienerDeconの出力として、s6a_DeconCMP、Stackの出力として、s6a_DeconStack を定義する。



FKbstack (without Decon)



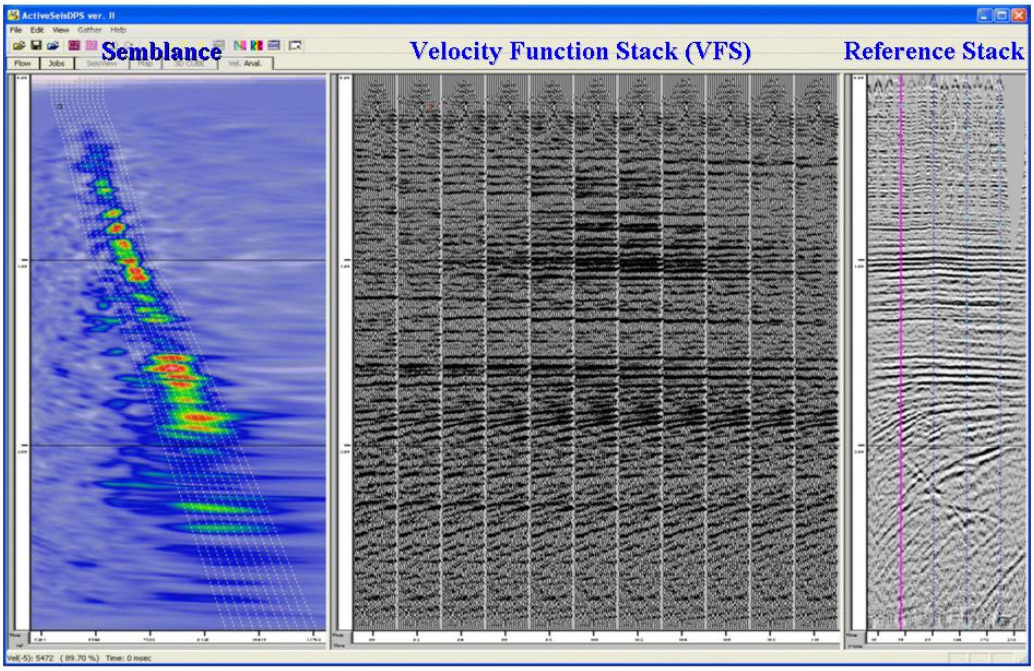
DeconStack (with Decon)



データ処理セミナー ハンドアウト例

©JGI2016

Velocity Analysis by ActiveSeisDPS



ActiveSeis DPS 表示画面：速度解析例

		午前	午後
1日目	（月）	反射法地震探査概論 【海上2Dデータ】 ジオメトリセット、発振点記録表示	振幅補正テスト Brute Stack作成
2日目	（火）	F-Kフィルターテスト デコンボリューション	速度解析 重合断面作成
3日目	（水）	バンドパスフィルター、スケーリング 重合後マイグレーション 重合前マイグレーション（PSTM）	【陸上2Dデータ】 ジオメトリセット
4日目	（木）	ジオメトリセット 振幅補正 Brute Stack	標高補正 表層補正
5日目	（金）	デコンボリューション 速度解析 残差静補正	重合断面 重合後マイグレーション

反射法地震探査処理セミナー：スケジュール例（2D 処理）

©JGI2016